



## **MINI EFFECT GIZMO X**

### 取扱説明書

RJM 日本国内輸入代理店

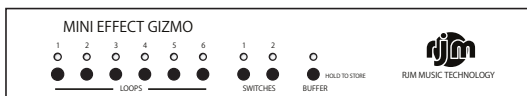
株式会社ミュゼット・ジャパン / Musette Japan Co.,Ltd.

〒101-0048 東京都千代田区神田司町 2-16-7 第二小林ビル B1

RJM Mini Effect Gizmo Xはコンパクトな筐体に6Loop (拡張12Loop)と外部機材を制御するFunction SWを2系統有するギターシステムの構築や拡張に最適なデバイスです。安全に正しく使用するために本マニュアルをご一読下さい。

## 概要

### フロントパネル



#### 1.LOOPS 1-6

1から6のボタンを押すことで各Loopのオン/オフを行うことができます。

#### 2.SWITCHES

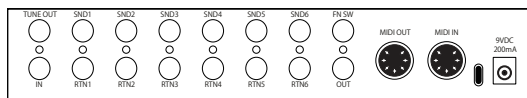
2系統のFunction SWのオン/オフを行うことができます。

#### 3.BUFFER

BUFFERのオン/オフを制御します。LEDインジケーターが緑でオン、黄色でオフの状態を示します。またボタンを3秒間長押しすることでBufferのオン/オフ状態を保存することができます。

※もし保存が出来ない場合は、本機に接続されるMIDペダルから正しくMIDIデータが送信されていないことを意味します。その際は各設定を確認して下さい。

### リアパネル



#### 1.TUNE OUT

外部TUNERへのOUTPUTです。このOUTはBufferの後に配置される為、TUNE OUTを使用の際はBuffer機能をオンにすることを推奨します。

#### 2.INPUT

本機のメインインプットです。ここに接続された信号はBufferを介してLOOPに送られます。

#### 3.SND / RTN 1 - 6

エフェクターを接続するループ端子です。SNDからエフェクターのインプットへ。エフェクターのアウトプットからRTNへ接続します。各LOOPスイッチがオンで接続したエフェクターへ信号が送受信され、オフでは完全にバイパスします。またオフ時にはSNDの信号はGNDに流れる為、ハイゲインペダルであっても不用意な発振ノイズを避けることができます。

#### 4.FN SW

TRS端子の2系統Function Switchです。アンプやエフェクターペダルの外部制御として使用することができます。

#### 5.OUT

本機のメインアウトです。各LOOPを経由した信号が出力されます。

## 6.MIDI OUT

本機のMIDI OUT端子です。7PIN(5PIN互換) 端子を備え、MIDIデバイスへPhantom電源を供給することも可能です。

## 7.MIDI IN

本機のMIDI IN端子です。7PIN(5PIN互換) 端子を備え、MIDIデバイスへPhantom電源を供給することもできます。

## 8.USB-C

USB Type-C端子です。Mac or PC、iPhoneやTabletへの接続を行うことができます。用意されたエディターソフトウェアで本機の設定が可能です。また、各設定は接続されるUSBからの電源で動作することも可能ですが、本機のオーディオLOOPの動作には、電源供給が必要となります。

## 9.Power

5.5mm/2.1mmのDCインポートです。本機の動作にはDC9-12Vで200mA以上の供給が可能なアダプター、もしくはパワーサプライをご使用下さい。電源にはセンターマイナスセンタープラスいずれも使用することが可能です。

# オーディオシグナルについて

MINI EFFECT GIZMO XIはインプット・アウトプット、そして全てのループをモノラル、またはステレオとして使用することが可能です。

※TUNER OUTのみ、常時モノ出力となります。

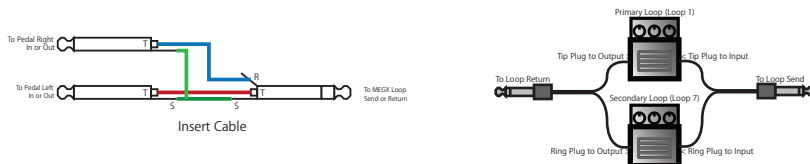
### ◆モノラル接続

ギターやアンプ、エフェクター等、様々な用途で使用されるモノラル接続の場合は1/4inch TSプラグのシールドケーブルで配線を行って下さい。

### ◆ステレオ接続

ステレオ接続を行う場合はSETUPモードでステレオ入出力を選択する必要があります。各機材との接続には1/4inch TRSプラグのシールドケーブルで配線を行って下さい。

接続にはインサートケーブルか、自作される場合は下記を参考に配線を行って下さい。



### ◆モノとステレオのミックス

モノラルエフェクターをステレオループで使用する場合、LeftとRightの両方に信号が流れます。ステレオエフェクターをモノラルループで使用の場合はLeft側のみ信号が流れます。

### ◆SPLITモード

MINI EFFECT GIZMO X専用のエディターソフトウェアを使用することで、1 - 6の各ループのステレオループをモノラル2系統に分岐することで最大12 LOOPへ拡張することができます。

#### ◆FUZZモード

楽器からのケーブルが長くなると信号の劣化やノイズの影響を受けやすくなります。その問題を解決するため本機には音質変化の少ない優れたバッファ回路を搭載しています。しかし、FUZZやWAH等の古典的な回路であるエフェクターは楽器を直接インプットすることを前提に設計されており、バッファ回路を経由してしまうと本来のサウンドを得ることができなくなります。

本機にはFUZZモードを搭載し、FUZZ等を接続する指定のLOOPがオンになると自動的にバッファがバイパスされ、ギターをダイレクトに接続した状態にすることが可能です。

※FUZZモードの設定は専用のエディターのみ可能となります。

#### ◆ビルドインチューナー

本機には内部に高精度のチューナーを搭載しています。このチューナー機能は本機のみでは表示することはできませんが、同社Master Mindコントローラー(LT,GT,PBC)のディスプレイにMIDIケーブルを介してデータを送信し表示することができます。

この機能を使用するにはDIN 5PINフル結線のMIDIケーブルと、ファームウェア4.6.1以上のMaster Mindコントローラーが必要となります。

#### ◆MONO / STEREOモード

本機はメインのINPUT、OUTPUT、そして各LoopをMONO / STEREOとして機能させることができます。MONO / STEREOモードの設定は下記の通り行うことができます。

1. Loop 6を押しながら電源を入れます。LEDが左から右へ点滅します。
2. Loop 1 - 6、SW 1 - 2を押して設定します。(オンの状態でステレオ動作となります)
3. Storeボタンを押すとLEDが点滅し保存されます。

#### ◆Loop Order機能

本機は1 - 6の各Loopに接続された状態はそのままに、自由にLoopの並び順を変更することができるマトリックス機能「Loop Order」を搭載しています。Loop Orderを使用することで、配線はそのままに幅広い音作りを実現します。

#### ◆LOOPオーダーセレクト

本機にはエフェクトループの順番を内部で自由自在にルーティング変更を実現する「Loop Order」機能を搭載しています。Loopオーダーの設定には専用のエディターが必要となります。

その他、MIDI Sys Exを使用して変更が可能です。設定方法は下記の通りです。

```
F0 00 01 5B <sysex_id> 23 00 <position_1> <position_2> ... F7
```

<sysex\_id>は工場出荷時は15に設定されており、エディターから変更することも可能です。

Command 23 00以降に並び替えたいLoop Orderを送信します。例えば4, 6, 3, 2, 1, 5の順に設定をしたい場合は、【F0 00 01 5B 15 23 00 04 06 03 02 01 05 F7】となります。

もし全てのLoop Orderの設定を並び替えない場合はCommandを省略することもできます。例えば、【F0 00 01 5B 15 23 00 04 02 F7】と送信した場合、【4, 2, 1, 3, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12】とLoop2以降は整数順に自動配列されます。

また、【F0 00 01 5B 15 23 00 F7】の様に、Loop Orderの指定無しで送信した場合はLoopの並びはリセットされ1 - 12までが順番に並び替えられます。

Loop Orderの状態は、異なる他の設定情報を受信するまではプリセットを変更した場合でも現在の状態を保持します。またLoop OrderはStoreボタンを長押しされるまでは保存されません。

## 外部機材のコントロール

### ◆ファンクションスイッチ

外部機材を制御することが可能なファンクションスイッチを2系統搭載しています。この2系統のファンクションはラッチまたはモメンタリーに対応しており必要に応じてモードを切り替えることも可能です。モノラルTSケーブルでは1系統のスイッチとして、ステレオタイプのTRSケーブルでは2系統スイッチとして。また、Yケーブルを用いれば2系統に分岐することも可能です。

### ◆Function Switchインバート

本機に搭載される2系統のFunction Switchを、ノーマリーオープンとノーマリークローズに設定することができます。変更は下記の手順で行います。

1. Loop 2を押しながら電源を入れます。LEDが左から右へ点滅します。
2. SW 1 - 2を押して設定します。(オンの状態でノーマリークローズとなります)
3. Storeボタンを押すとLEDが点滅し保存されます。

### ◆Function Switchモメンタリーモード

本機に搭載される2系統のFunction Switchをラッチとモメンタリーモードのに設定することができます。変更は下記の手順で行います。

1. Loop 3を押しながら電源を入れます。LEDが左から右へ点滅します。
2. SW 1 - 2を押して設定します。(オンの状態でモメンタリーとなります)
3. Storeボタンを押すとLEDが点滅し保存されます。

### ◆Function Switchグルーピング

本機に搭載される2系統のFunction Switchをグルーピングすることで、どちらかがオンの時は片方がオフになるという変更は下記の手順で行います。

1. Loop 4を押しながら電源を入れます。LEDが左から右へ点滅します。
2. SW 1 - 2を押して設定します。(オンの状態で同一グループとなります)
3. Storeボタンを押すとLEDが点滅し保存されます。

## MIDI CHの設定

### ◆MIDI チャンネルの設定

MIDI CHの設定はコントローラーと本機を正しく動作させるためにも必ず設定が必要です。工場出荷時はデフォルトでMIDI CH 1に設定されています。MIDI CHの変更は下記の手順で行います。

1. Loop 1を押しながら電源を入れます。LEDが左から右へ点滅します。
2. 下記の表を参考にLoop 1 - 4の点灯を切り替え、指定したいMIDI CHに合わせます。
3. Storeボタンを押すとLEDが点滅し保存されます。

MIDI Channel	Loop 1 LED	Loop 2 LED	Loop 3 LED	Loop 4 LED
1	OFF	OFF	OFF	OFF
2	ON	OFF	OFF	OFF
3	OFF	ON	OFF	OFF
4	ON	ON	OFF	OFF
5	OFF	OFF	ON	OFF
6	ON	OFF	ON	OFF
7	OFF	ON	ON	OFF
8	ON	ON	ON	OFF
9	OFF	OFF	OFF	ON
10	ON	OFF	OFF	ON
11	OFF	ON	OFF	ON
12	ON	ON	OFF	ON
13	OFF	OFF	ON	ON
14	ON	OFF	ON	ON
15	OFF	ON	ON	ON
16	ON	ON	ON	ON

## MIDI プリセット

### ◆MIDI プログラムチェンジ

本機はMIDIコントローラーからのプログラムチェンジ信号を受信することで、各LOOPやSWITCHのセッティングを128個保存。そして7個のMIDI BANK SELECTにも対応し最大で1024個ものプリセットを保存することが可能です。プリセットを保存するのは下記の通り、非常に簡単に行うことができます。

1. 接続されたMIDIコントローラーから変更したいプログラムチェンジナンバーを送信する。
2. LOOPやFUNCTIONボタンを押下し各機材のオンオフを行います。
3. BUFFER (WRITE) ボタンを約3秒間長押しします。LEDが点滅し設定が保存されます。

※WRITEボタンを押しても反応がない場合は正しくMIDIデータが受信できていないことを意味します。各MIDI設定を確認して下さい。

### ◆BANKセレクト

MIDIプログラムチェンジでは0-127までの計128個までのPresetを呼び出すことができません。しかしContinuous Controller #0 (BANK MSB) を使用することにより、Presetを128 x 8 = 1024個まで呼び出すことが可能となります。

- ※BANK Noは0 - 7まで使用可能で8以降のメッセージは無効となります。
- ※本機は最後に受信したBANKナンバーを記憶しますので、同じBANKでのPresetの変更はProgram Changeデータのみで動作します。

# MIDI コンテニューアスコントロール

## ◆MIDI コンテニューアスコントロール

本機はMIDIプログラムチェンジ以外にも、コンテニューアスコントロール、iCCによって制御を行うことも可能です。下記の表を元にMIDIコントローラーの設定を行って下さい。

Continuous Controller	Value	Function
CC80	0-63 64-127	Loop 1 off Loop 1 on
CC81	0-63 64-127	Loop 2 off Loop 2 on
CC82	0-63 64-127	Loop 3 off Loop 3 on
CC83	0-63 64-127	Loop 4 off Loop 4 on
CC84	0-63 64-127	Loop 5 off Loop 5 on
CC85	0-63 64-127	Loop 6 off Loop 6 on
CC86	0-63 64-127	Loop 7 off <sup>1</sup> Loop 7 on
CC87	0-63 64-127	Loop 8 off <sup>1</sup> Loop 8 on
CC88	0-63 64-127	Loop 9 off <sup>1</sup> Loop 9 on
CC89	0-63 64-127	Loop 10 off <sup>1</sup> Loop 10 on
CC90	0-63 64-127	Loop 11 off <sup>1</sup> Loop 11 on
CC91	0-63 64-127	Loop 12 off <sup>1</sup> Loop 12 on
CC102	0-63 64-127	Function Switch 1 off Function Switch 1 on
CC103	0-63 64-127	Function Switch 2 off Function Switch 2 on
CC110	0-63 64-127	Input off Input on
CC112	0-63 64-127	Output(s) off Output(s) on
CC113	0-63 64-127	Output 1 (left) off Output 1 (left) on
CC114	0-63 64-127	Output 2 (right) off Output 2 (right) on
CC115	0-63 64-127	Output 1 (left) on, output 2 (right) off Output 1 (left) off, output 2 (right) on
CC116	0-63 64-127	Tuner output off Tuner output on
CC117	0-63 64-127	Buffer off Buffer on
CC119	0-63 64-127	Internal tuner off Internal tuner on

※LOOP 7 - 12の制御はSplit Mono機能を用いた場合のみ、有効となります。

※※専用のエディターを使用し、アサインされるCCナンバーを変更することも可能です。

## ファクトリーリセット

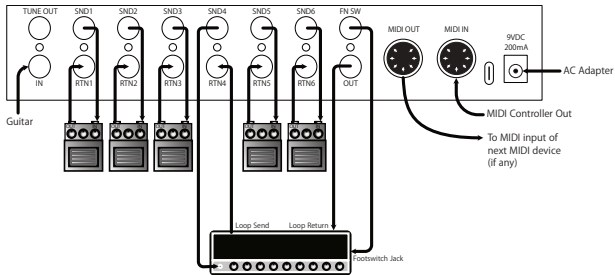
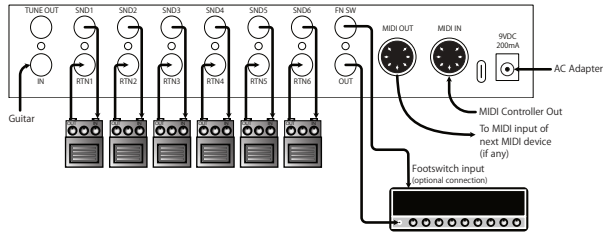
### ◆ファクトリーリセット

本機を工場出荷時の状態へリセットすることができます。下記の手順で行ってください。

※注意! ファクトリーリセットを行うと全ての設定が破棄されます。

1. Loop 1と4を押しながら電源を入れます。
2. 数秒後に全てのLEDが点灯したらボタンを離して下さい。
3. LEDが消灯すればリセット完了です。

# 接続例



# 仕様

寸法 : 235(W) x 102 (D) x 43 (H) mm

重量 : 0.6 kg

電源 : 9 Volts DC or AC @ 200mA ( 両極性に対応 )  
5.5mm OD, 2.1mm ID x 9.5mm barrel connector ( BOSS-style )

Phantom Power : 9VDC, 最大 800mA( パワーサプライに準ず )

MIDI IN 端子の 6 - 7Pin を介して電力供給を受けることができます。  
6 - 7Pin の電源供給は MIDI OUT 端子の同じピンにも供給されます。  
1A を超えるとリセットブルヒューズが回路を保護します。

プリセット数 : 1024 プリセット